

研究業績書の作成方法

理工学部学生課

【作成上の注意点】

- ・ 本研究業績書の作成日、専攻・課程、専修名、学年、学籍番号、氏名を記入してください
 - ・ つづいて、1. ～7. の項目については下記の記入例により記載してください。項目に記入することがない場合は「(1)なし」と記載してください
 - ・ 作成後、指導教員に内容の確認および署名・捺印をお願いしてください
 - ・ 複数枚に亘っても構いませんが、提出する際は全て片面に印刷してください
 - ・ 作成にあたり、不明な点があれば学生課学生生活担当へ問合せください
1. 公刊学術論文（最近のものから順に (1)、(2)、(3)・・・と番号を付して記載）
（記入例）
 - (1) Keio, Taro; Hiyoshi, Jiro; Kimura, Saburo; Mori, Ichiro, Giant nonlinear phase shift at exciton resonance in ZnSe, Appl.Phys.Lett., Vol.60, No.2, pp.192-194, 2015年8月15日掲載 Impact Factor (2015): 3.841.
 (ア)査読付論文で掲載済み、掲載予定、掲載決定のものを記入
 (イ)著者（全員、論文記述順）、論文題目、掲載論文誌名(巻・号・頁)に加えて、「○年×月△日掲載、○年×月△日掲載予定、○年×月△日掲載決定」のいずれかを記載する
 (ウ)学術誌のインパクトファクターは Journal Citation Reports を調べ、「Impact Factor : ○○○」と記載。Journal Citation Reports に載っていない学術誌の場合は「Impact Factor : 不明」と記載する
 2. 国際会議プロシーディング（ここに記載したものは、次の「3. 国際会議発表」には重複して記載しないこと、発表講演者にはアンダーラインを付すこと）
（記入例）
 - (1) Jiro Hiyoshi, Taro Keio, Hanako Suzuki, GUI design solution for a monocular, see-through head-mounted display based on users' eye movement characteristics, 15th International Conference on Human – Computer Interaction, pp.102-105, Detroit, USA, 2015年11月15日発表済。
 (ア) 著者（全員、論文記述順、発表者に下線を引くこと）、論文題目、発表会議名(主催学会名)、開催地(国)、開催年月日を明記。加えて、「○年×月△日発表済、○年×月△日発表予定、○年×月△日発表決定」のいずれかを追記する。
 3. 国際会議発表（上記「2. 国際会議プロシーディング」に記載していない国際会議での発表を記載すること、発表講演者にはアンダーラインを付すこと）
（記入例）
 - (1) Jiro Hiyoshi, Taro Keio, Hanako Suzuki, Giant Excitonic Optical Nonlinearity in ZnSe, 5th International Conference on II-VI Compound, Detroit, USA, 2015年11月15日発表。
 (ア) 著者（全員、論文記述順、発表者に下線を引くこと）、論文題目、発表会議名(主催学会名)、開催地(国)、開催年月日を明記。加えて、「○年×月△日発表済、○年×月△日発表予定、○年×月△日発表決定」のいずれかを追記する。
 4. 国内講演会発表（発表講演者にはアンダーラインを付すこと）
（記入例）
 - (1) 矢上花子、慶應太郎、磁気利用センシングシステムの現状と将来展望, 第51回日本○○学会, 横浜パシフィコ, 横浜, 2016年1月15日発表。
 (ア)発表者(下線を引くこと)・連名者、論文題目、発表会議名(主催学会名)・開催地、開催年月日を明記。それに加え、「○年×月△日発表済、○年×月△日発表予定、○年×月△日発表決定」

のいずれかを追記する。

5. 特許（業績に番号を付すこと）

（記入例）

- (1) 矢上一郎（50%）、慶應太郎（30%）、鈴木花子（20%）、並列分散制御におけるリアルタイム通信方式，特願平 9-127876 号（特開平 10-307803 号、特許番号 1234567 号），2015 年 5 月 15 日出願。

（ア）名称、特許出願番号、公開(出願)年月日、発明者全員(それぞれの貢献度%を記入すること)を記載。申請中の場合は申請番号を明記する。

6. 賞罰（教育研究活動に関するもののみ記入する。また賞罰に番号を付すこと）

（記入例）

- (1) 慶應太郎，〇〇優秀発表賞，日本〇〇学会，磁気利用センシングシステムの現状と将来展望（第 51 回日本〇〇学会），2016 年 1 月 15 日受賞。

その説明：約 100 名の講演者の中から 5 名が選出され、受賞される

- (2) 慶應太郎，藤原賞、慶應義塾大学理工学研究科委員長青山藤詞郎，手書き文字の個人性特長の定量化ならびにカラーデジタル画像の全自動画像改善法の開発，2015 年 3 月 29 日受賞。

その説明：専攻選出の推薦候補者 20 名から理工学研究科で 3 名が選出され、受賞される

（ア）受賞者、名称、授与した団体名(者)、受賞年月日を記載。受賞者が個人受賞の場合は個人名を、連名受賞の場合は全員の氏名を記載。また、必ず「その説明：」を上記例に倣って記入する。

7. その他の業績 [著書，データベースやソフトウェアなどの著作物（ただし上記 1.~5. に記したものは除く），建築分野の作品・展示会・デモンストレーション，KEIO TECHNO MALL，その他上記 1.~5.以外の教育研究活動に関する実績などはここに記載する。]

（記入例）

- (1) 慶應太郎，矢上花子、京都府大宮町「小町の舎」小野小町資料館，小野小町資料館の実施設計，2015 年 8 月 1 日発表。

（ア）著作、ソフトウェア、作品等の発表、コンペ，展示会，その他の活動を記入

（イ）発表者（全員）、名称、発表出版・発表場所、内容(ごく簡単に)、発表年月日を記載する。